

●黄色いセルに入力可能です

● はブルダウンバーから選択します。

作成担当者名 教諭 垂石 純尚

使用教科図書 (学校教育法附則第9条の規定による)		使用 副教材	
------------------------------	--	-----------	--

目標	<ul style="list-style-type: none"> 窯業の作業を通じて、働くうえで必要となる基礎的・基本的な知識・技能を理解することができる。 協働することを通じて働き方を考えとともに、望ましいコミュニケーションの方法を探究することができる。 学習全体をとおして、働くことの喜びや大変さを実感し、将来の進路選択・実現に向けた意欲をもつことができる。
----	--

月	単元題材	指導期間	単元担当	目標	主な学習内容	指導内容表	
4・5	窯業の基礎確認 ～板づくりの基礎確認		垂石純尚	技知能識	・板づくりによる皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 作業学習とは何か 身だしなみ、道具、準備、片付け 清掃の仕方ほか学習のルール 板づくりの技法と工夫 板づくりマグカップ、受注製品の製作 吹きつけなど釉掛け方法の共有 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識1、3～6、9、12 知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 処理数40、41、43、44、46 時間時刻48、49 コミュニケーション52～59、62～65、67 忍耐力73、76
				思判表	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。		
				態度	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。		
6・7	窯業の基礎 ～板づくり、電動ろくろでの高台つけ		垂石純尚	技知能識	・様々な技法に必要な知識・技能を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> よりを使う皿の製作技法 生徒同士での制作方法共有 電動ろくろの使用方法和注意事項 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識1、3～6、9、12 知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 処理数40、41、43、44、46 時間時刻48、49 コミュニケーション52～59、62～65、67 忍耐力73、76
				思判表	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。		
				態度	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。		
7～12	学校祭の販売に向けた準備		垂石純尚	技知能識	・製作方法や販売の仕方を理解し、取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 陶器小物の製作 板づくりによる様々な皿の製作 役割を分担した仕事の仕方 販売の準備 (製品企画会議、接客、レジ、広告、表示、レイアウト等) 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識1、3～6、9、12 知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 処理数40、41、43、44、46 時間時刻48、49 コミュニケーション52～59、62～65、67 忍耐力73、76
				思判表	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。		
				態度	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。		
1～3	新しい技法 ～水引きによるカップ・茶碗類の製作、様々な釉がけの方法		垂石純尚	技知能識	・新しい技法を用いた製作に必要な知識・技能を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 水引きの技法(立体物) 様々な釉がけ(ズブがけ以外) 様々な立体製品の製作 新たな製品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識1、3～6、9、12 知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 処理数40、41、43、44、46 時間時刻48、49 コミュニケーション52～59、62～65、67 忍耐力73、76
				思判表	・新たな目標をもち、課題改善に向けた工夫を続けることができる。		
				態度	・次年度の商品になる可能性を意識し、集中して取り組むことができる。		
通年	受注生産 返礼品生産 コラボ商品生産		垂石純尚	技知能識	・製品の規格を理解し、正確に生産することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 受注、返礼品(ふるさと納税)、コラボ商品(他の学科製品と合わせた商品販売)の仕組み 経済、流通の仕組みの基礎 各単元で学んだ知識・技能を生かした製品づくり 各単元で学んだことを生かした協働の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識1、3～6、9、12 知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 処理数40、41、43、44、46 時間時刻48、49 コミュニケーション52～59、62～65、67 忍耐力73、76
				思判表	・生産効率を向上させるための工夫をすることができる。		
				態度	・納品先のことを意識し、丁寧に取り組むことができる。		

年間目標		<ul style="list-style-type: none"> ・窯業の作業を通じて、働くうえで必要となる基礎的・基本的な知識・技能を理解することができる。 ・協働することを通じて働き方を考えるとともに、望ましいコミュニケーションの方法を探究することができる。 		
	単元題材	目標		学習内容
4 ・ 5	窯業の基礎確認 ～板づくりの基礎確認	知識・技能	・板づくりによる皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習とは何か ・身だしなみ、道具、準備、片付け ・清掃の仕方ほか学習のルール ・板づくりの技法と工夫 ・板づくりマグカップ、受注製品の製作 ・吹きつけなど釉掛け方法の共有 ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
6 ・ 7	窯業の基礎 ～板づくり、電動ろくろでの高台つけ	知識・技能	・様々な技法に必要な知識・技能を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・よりを使う皿の製作技法 ・生徒同士での制作方法共有 ・電動ろくろの使用方法和注意事項 ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
7 ～ 12	学校祭の販売に向けた準備	知識・技能	・製作方法や販売の仕方を理解し、取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・陶器小物の製作 ・板づくりによる様々な皿の製作 ・役割を分担した仕事の仕方 ・販売の準備（製品企画会議、接客、レジ、広告、表示、レイアウト等） ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
1 ～ 3	新しい技法 ～水引きによるカップ・茶碗類の製作、様々な釉がけの方法	知識・技能	・新しい技法を用いた製作に必要な知識・技能を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・水引きの技法(立体物) ・様々な釉がけ（スズがけ以外） ・様々な立体製品の製作 ・新たな製品の開発 ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・新たな目標をもち、課題改善に向けた工夫を続けることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・次年度の商品になる可能性を意識し、集中して取り組むことができる。	
通 年	受注生産 返礼品生産 コラゴ商品生産	知識・技能	・製品の規格を理解し、正確に生産することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・受注、返礼品（ふるさと納税）、コラゴ商品（他の学科製品と合わせた商品販売）の仕組み ・経済、流通の仕組みの基礎 ・各単元で学んだ知識・技能を生かした製品づくり ・各単元で学んだことを生かした協働の仕方
		思考力・判断力・表現力等	・生産効率を向上させるための工夫をすることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・納品先のことを意識し、丁寧に取り組むことができる。	